



令和3年度国公立大学附属病院医療安全セミナー開催報告

令和3年度国公立大学附属病院医療安全セミナーを6月29日に開催しました。本年も新型コロナウイルス感染症流行の影響でオンライン開催となりました。計631名と昨年度よりさらに多くの参加者がありました。

今年のプログラムの中から、JAL機長の和田尚先生による航空業界におけるレジリエンスの要素を取り入れた訓練に関するご講演の内容をご紹介します。



レジリエンスの要素を取り入れた新たな形でのエアラインパイロット訓練

座長 独立行政法人労働者健康安全機構理事 大阪大学医学部招聘教授 中島和江

講演：和田 尚 先生



日本航空株式会社
運航訓練部 A350訓練室
飛行訓練教官 A350機長

- 2019年に新機種A350を導入
- パイロットをレジリエンスの要素を取り入れた形で訓練した。
- 導入後、明らかな事故や大きな不具合は起こっておらず稀にみる成功例とされる。

自律を促す訓練→レジリエンス高まる

『依存的姿勢から自律的姿勢へ』

- ・ “訓練”とは「辛い苦行」
- ・ マニュアル通りにすれば高評価
- ・ 失敗をしたくない
- ・ 責任を負いたくない

依存的姿勢

- ・ “訓練”では成長する楽しさを感じる
- ・ プロセスよりもゴールを重視
- ・ チャレンジする意欲
- ・ 経験する中で学ぶ

自律的姿勢

従来の訓練：

決まった課題に対してパーフェクトを追求する

- ・ 失敗を許容範囲に抑える
- ・ 有害行動を排除
- ・ 完璧さを追求
- ◆ 分析的アプローチ
- ◆ 高評価が得やすい
- ◆ 想定された特定の状況は得意になる



新しい訓練：

何が起こるか分からない条件下で柔軟に対応し最善を目指す

- ・ 成功を増やす
- ・ プラス行動を分析
- ・ 最善を追求
- ・ エラーは避けられない
- ・ 擾乱や制約に自律的に対応
- ◇ 統合的アプローチ
- ◇ 経験則 直観が影響
- ◇ 想定外の状況にも対応できる

